

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会代々木病院 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

地域や家庭で安定した生活を送れるよう支援

入院・転院相談

退院支援

社会福祉制度の相談 など



患者サポートセンターのスタッフ7人（前列中央が遠田元美師長）と、連携して働く訪問リハビリのスタッフ3人

患者サポートセンター

患者サポートセンター（代々木病院 本館2階）は、病気の人やその人に関わる人が地域で安心して住み続けられるようご支援等を行っています。その役割について遠田元美師長が説明いたします。

今年5月から「相談室」より名称を「患者サポートセンター」に改めました。地域に根ざした病院として、よりご利用しやすくなるよう努力していきたいと思えます。

患者サポートセンターにはスタッフ7名がいます。内わけは4名の社会福祉士（11月からは3名）、2名の看護師、1名の事務員です。

病気をもちの方が、地域や家庭においてできるだけ安定した生活を送れるよう、また、患者様を支援される方々も安心して生活ができるよう、医療・福祉の立場から支援させていただきます。具体的には、「入院・転院のご相談」、「そのとにかかわる他医療機関との連携」、「社会福祉制



患者サポートセンター内。相談や調整などで電話が頻繁にかかってくる



患者サポートセンターは、本館正門入り口横の階段（北側）を昇った2階の左手（整形外科や訪問診療部）の突きあたりの「12」の数字の扉です

患者サポートセンター 遠田元美 ください。

患者サポートセンターのご利用案内

【ご利用時間】

【月曜～金曜】 8時45分～16時45分

【土曜】 8時45分～12時45分

【お休み】 日曜・祝日

12月29日～1月3日

【場所】

代々木病院 本館2階

☎直通 03-5411-9583

代表 03-3404-7661

今年の共同組織活動交流集会では「決めるのは私たち、憲法をいかに、平和、人権、環境を守る。地域丸ごと安心して住み続けられる街づくり」がテーマでした。街づくりの中で、健康問題は重要なテーマです。私たち民医連は、目の前の患者さんに対応するだけでなく、地域全体の



共同組織拡大強化月間 平等で差別のない医療、地域、社会つくる運動への参加を 代々木病院 院長 本間章

健康状態はどうなっているのか、健康を阻害している様々な要因を分析し、そこにも目を向けて友の会の方や、地域住民と

千駄の萱

グローバル化にもかわらなく、人々の心は狭くなり、社会の生きにくさが加速している。オリンピックが人々の眼を奪ったこの夏、相模原市のやまゆり園での事件が、戦後日本に定着していたと思われてきた福祉や人権に関する思想と仕組みに大きな傷を残し、人の心の片隅に眠っていた闇を白日のもとにさらしてしまった。一方、アメリカでは公然と差別を肯定するトランプが大統領候補となり、フイリピンにおいても薬物犯罪がいかに深刻とは言っても大統領が被疑者の命を法的手続き抜きに絶つている。また、横浜の病院では事件の詳細は不明でも連続患者殺人事件が発生してしまった。格差が広がり、不安感が充満しつつある暗い時代の中で、弱い者、他と違うものや地域が峻別され、不当な差別や危害を受けている。被害者も加害者も傍観者も数知れない、今の私はどちらだろう。か。年老いたら、重い病気になったら、障害を持った子孫が生まれたら、その時、自分の罪に気づき反省する前に、今からでも遅くない。自分がその立場に立たされた時のことを想像し続けたいと思う。(ま)